

第5号 「甘ったれ SHG など、PCUR-LINK 事業のパートナーではない！」と  
水戸黄門様(ソムニード代表理事)の宣告を受けたオバチャンたち

(平成 17 年 1 月 1 日発行)

～甘ったれ SHG に 400 万円の生産・物流センターの計画 & 管理運営を任せられるか！～

時は平成 16 年 12 月 20 日、ビシャカパトナム・シャマラパラダイス(会議場名)、お題は、SHG のメンバーを対象にした能力向上ワークショップ。午前 10 時、ソムニードの水戸黄門ファシリテーター「和田信明」は、SHG オバチャンたちを前にして。

水戸黄門:「皆のもの、今日のワークショップのテーマは何だと思うか？」

SHG オバチャン(1):「えーっと、SHG がちゃんと活動しているかどうか確認するのがテーマ？」

水戸黄門:「そんなことはソムニードにも JICA にも関係ない、グループがちゃんと活動してるかどうかはおまえさんたちの責任じゃないのか？」

SHG オバチャン(2):「そうそうグループの責任よ。じゃあ、8 月のワークショップのことやチェンナイでの視察のことをグループ内で話し合ったかどうか確認するのがテーマかしら？」

水戸黄門:「そんなこともわしらは知らん。グループで話そうが話すまいが、グループの勝手じゃ。なぜ 7 月以来、研修や視察をしたか、なぜソムニードのスタッフが SHG ミーティングに出かけていったか知っておるか？」

SHG オバチャン(3):「SHG がちゃんと自分たちでグループ活動ができるように、じゃないの？」

水戸黄門:「さっきも申したが、自分たちでグループ活動ができるか、できんかは、わしらの知ったことじゃないわ。7 月の事業開始式でも、8 月のワークショップでも、PCUR-LINK 事業のことを申したはずじゃが、覚えておるか？」

オバチャン一同:沈黙 「なんだっけ??? もう一回、教えてください。」

水戸黄門:「もう何度も説明したのじゃが、そんなに知りたいのなら、最後にもう一度、特別に PCUR-LINK 事業のことを聞かせてとらす。皆のもの、よく聞け、2 度と申さぬぞ。同事業は、ビシャカパトナム郊外に生産・物流センターを建設し、生産者と消費者を直接、結びつける。約 400 万円に近いこの生産・物流センターの建設計画から管理・運営を SHG の手に委ねることが主な活動なのじゃ。」

オバチャン一同:「よんひゃくまんえん!!!!」 オバチャンたちは 8 月のワークショップでも同じ反応をしたのであった。

水戸黄門:「毎月のグループの会計帳簿付けも、スタッフに頼っていたり、スタッフが来なかったらミーティングも開けなかったり。毎月の貯蓄もせず、無計画に借金して、毎月 500 円すらきちんと返済できない。おまけにソムニード・スタッフがミーティングに行けば、未だに“貧しいから助けてくれ”と物乞いをする SHG までであるというではないか。8 月のワークショップで申し伝えた PCUR-LINK 事業のことも、9 月、10 月、11 月のチェンナイ視察に行ったことも、ろくにグループのメンバーと共有しない。スタッフのまえでは“これからは自分たちで SHG の活動をする”などと申しおきながら、何もしない。いつまでも誰かが助けてくれるのを待っている、甘ったれた SHG に 400 万円の施設の管理を任せられると思っておるのかっ！」

オバチャン一同:沈黙

水戸黄門:「8 月のワークショップも、チェンナイへの SHG の視察も、ソムニードのスタッフによる SHG ミーティング訪問もすべて、どのグループに生産・物流センターの管理を任せられるか、いわばこの事業のパートナーを探しておったのじゃ。わしらは、8 月から 12 月まで何度もワークショップやグループのミーティングで、SHG はセルフ・ヘルプ・グループだということを申ししてきた。また、チェンナイではそういうグループを見てきたのだろうが！今までみたいに、“貧しい SHG がおらんと NGO 商売は成り立たんから、せいぜい助けを求めよう、なんかくれたらラッキー”なんて思っていたら大間違いじゃ。そんなグループは PCUR-LINK 事業には不要じゃ。そんなふう考えている SHG メンバーがいたら、今すぐ帰ってよらしい。こちらから頼んでワークショップに参加してもらう必要はない！」

オバチャン一同しばらく沈黙後。。。

SHG オバチャン(4):「いんや、アタシ等帰らん。PCUR-LINK 事業に参加したいんだもん。」

SHG オバチャン(5):「400 万円の生産・物流センターの管理をしたいわ。どうしたら信頼のある SHG だって認めてもらえるのよっ!？」

水戸黄門:「それぞれのグループで 8 月のワークショップやチェンナイへの視察の後、“これからはグループでやる”、と決めたことがあるじゃろう、それを実行してみなさい。8 月からずっと“自分でやる”と言い続けておったが、もう 5 ヶ月が過ぎた。“来月は返済する、来月からはきちんと貯蓄する、自分たちで帳簿もつける”と口だけで実行しない者を、おまえさんたちは信じられるか？わしらは 12 月と 1 月にもう 1 度、各 SHG のミーティングを見せてもらう、そこで一緒に次のリストに点数をつけようではないか。ちなみに次のリストは、8 月から 11 月の間に、おまえさんたち SHG が自分でやると言ったことばかりじゃ。」

“PCUR-LINK 事業におけるパートナー SHG としての必須条件リスト”

- (1) 8 月と 12 月のワークショップおよびチェンナイへの視察に、グループのメンバーが参加した  
:はい/いいえ
- (2) ワorkshopやチェンナイ視察の結果をグループメンバーと話し合った:はい/いいえ
- (3) グループ・ミーティング以外の時に、グループのお金の出し入れをしない:はい/いいえ
- (4) 定期的な貯蓄、ローンの返済を実行している:はい/いいえ

- (5) グループ内で活動の役割分担をしている: はい/いいえ
- (6) グループメンバー自身で、帳簿やミーティング議事録をつけている: はい/いいえ
- (7) 毎月のグループ・ミーティングへのメンバーの出席率は 90% 以上である: はい/いいえ
- (8) グループメンバー全員が返済スケジュールを理解している: はい/いいえ
- (9) 銀行の通帳は毎月データを更新している: はい/いいえ
- (10) 毎月、グループ内の資金を 80% 以上は利用している: はい/いいえ

ここで「はい」が 10 個あったグループのみが、2 月のワークショップの対象になる。すなわち、きちんと自分たちで決めたことを実行しているグループだ。10 点満点のグループが 1 つしかなくても、ソムニードは、一向に構わないのだ。そのグループに、生産・物流センターの計画から管理・運営までを担ってもら。もちろん、そのために必要な様々な研修も行う。ゆくゆくは、生産・物流センターの管理・運営を担う“セルフ・ヘルプ・スーパー・オバチャン”たちに甘ったれた SHG オバチャンは、こき使われるだろう。

今まで、たまにスラムに来ては、なんかプレゼントくれて、もう 2 度と彼女たちのところへは来なかった

NGO や政府がたくさんいた。その人たちがくれたプレゼント(開発事業)と PCUR-LINK 事業が、全く違うことに気がついたオバチャンたちが数名。彼女たちの目の色が変わっていた。

朝から始まったワークショップはここで、1 時間の昼休み。昼食後、SHG オバチャンたちに、本物そっくりのオモチャのルピー札が配られ、次の課題が与えられた。

“グループのメンバーは 10 名。毎月の貯蓄は 1 人 500 ルピー。活動は 1 年間。ローンをもたらえる順番を 1 から 10 番までくじで決める。最初の月には、グループの貯蓄総額 5000 ルピー(500 ルピー×10 人)をローンの順番が 1 番の人に貸す。5000 ルピーを借りた人は、10 ルピーの利子をつけて、翌月には必ず返済する。2 ヶ月目には、5000 ルピーの貯蓄と 5000 ルピーの返済金、10 ルピーの利子がグループの手元にある。この合計 1,010 ルピーの中から、今度は 500 ルピーずつ 2 番、3 番の人に貸し出す。

これを繰り返すと、一体 1 年間で合計いくらの金額がグループ内で利用可能になるか？”

オバチャンたちは、オモチャのルピー札を使って 12 ヶ月間の内部ローン運営ゲームをした。毎月貯蓄する、500 ルピー借りる、借りたら利子をつけて翌月に返済する、を 10 人で 12 回繰り返すと。。。

お時間のある方は実際にいくらになるか計算してみてください。

注 1) エクセルシート使うとすばやく計算できます。

注 2) 注 2) 10 人集めて、オモチャのお金、もしくは本物のお金で試すと、より楽しいです。また銀行係を決めるとお金の出し入れがスムーズにいきます。

注 3) もっともおもしろい内部ローン運営ゲームが見つかったら、[somneed@sify.com](mailto:somneed@sify.com) までご連絡くだ

さい。

多くの SHG オバチャンたちは毎月の 30 ルピー、50 ルピーの貯蓄も払わず、グループから無計画に借りては、借金の返済を遅らせるばかりだった。定期的な貯蓄とローン返済を実施している SHG は、11 月と 12 月にスタッフが訪れた約 60 のグループ中、わずか 10 グループだった。そんなオバチャンたちが、このゲームで、グループが利用できるお金が年間でなんと 39,780 ルピー(約 95,000 円)もあるということを見つけた。きちんと貯蓄、きちんと返済、を繰り返したところ、10 人中 8 人が年間で合計 4,000 ルピーを、2 名が 3,500 ルピーのローンを利用できることがわかった。加えて、780 ルピーが利子としてグループの手元に残る。しかも銀行とか政府機関とかの外部からのローンなしで、グループの力だけで！！

このゲームの意味がわからなかったオバチャンが、ゲームが終わって一言。「アタシら貧しいから、500 ルピー借りて、翌月に全額返すなんて、無理だわ。」

それに答える水戸黄門。

「だったら、おまえさんたちが返済できるだけの金額、100 ルピーでも 200 ルピーでも借りて、毎月、返してゆけばいいじゃろうが。毎月 100 ルピーが返せぬ者が、1,000 ルピーのローンを 10 回払いで返せると思うか？」

ほとんどの SHG で、毎月の貯蓄なんて、したり、しなかったりだ。だから自分たちの貯蓄からお金を借りることは、全くあてにならない。あてになるのは、政府や銀行からのローンだが、これだって手続きが煩雑だったり、担当職員の気分次第でローンがもらえたり、もらえなかったりした。それでも、オバチャンたちは、政府や銀行から 10,000 ルピーとか 20,000 ルピーとかのローンがもらえるたびに 10 人のグループなら、等分して(10,000 ルピーなら 1 人 1,000 ルピー)、10 回払い、とローンを分配していた。もちろん、自分たちの家のお金の出入りとか、自分の返済能力とかは、全く考えたことはなかった。

このゲームで、SHG のグループとしての力を初めて知ったオバチャンたちが数名。PCUR-LINK 事業のパートナー SHG となるには、12 月、1 月中に 10 点満点を取らなければならない、この意味を理解したオバチャンたちが数名。

この辺りで、午後 5 時。そろそろ一日のワークショップも終わりの時間だ。

このワークショップで、「自立できない甘ったれ SHG は JICA の事業のパートナーには必要なし！」と言われてしまったオバチャンたち。ようやく目覚めたオバチャンたちの各グループでの活躍は、次号乞うご期待。

### スタッフの苦悩(続編): ~ 私って(SHG に)利用されているだけだったの! ~

11 月以降、「これからどうやって仕事をすればいいの!」と途方にくれていたマヒラ・アクションのスタッフ。12 月は、黄門様の登場で、またまたスタッフを対象としたワークショップの連続。その上、「私がいなくちゃ SHG ミーティングが始まらないわ」と一生懸命だった彼女たちは、黄門様からミーティング訪問禁止を言い渡された。ミーティングを訪れる度に、SHG オバチャンたちの依存状態を

増長させていたスタッフは、ソムニードのスタッフと一緒にいるとき以外は、スラムに立ち入ることも禁止された。

「そんなに SHG オバチャンを助けたいのなら、助けてあげればいい。SHG の自立を目指す PCUR-LINK 事業に、依存を生み出すような活動しかできないスタッフは不要。今すぐ、この事業を辞めて、さっさと SHG を助けに行け！」

と、怖い水戸黄門様に怒られちゃったスタッフは、毎日ソムニードの事務所に出てきては、あれこれと宿題をこなしている。宿題は、SHG 内部ローン運用にかかわる教材作成だったり、SHG ミーティングへ訪問した際のデータをまとめる作業だったり、SHG メンバーを対象にしたワークショップの準備だったり。

最初は、「私がミーティングに行かなくて、SHG は大丈夫かしら？」とか、「もし SHG が自分たちで、会計もミーティングも何でもできるようになったら、私は何をしたらいいの？」なんて心配していたスタッフ。スラムへの立ち入りを禁止されて、しばらくは、しびしび事務所で、宿題をしていたスタッフも、最近では、なんだか楽しそう。相変わらず宿題は提出する度に、「やり直し」と、つき返されるが、その度に新しい知識と技術を身につけてゆくを感じているらしい。

ソムニードの事務所で6年近く SHG を「助けてあげてきた」スタッフが一言つぶやいた。「私って、SHG オバチャンたちに、“記録をつけてくれる、ミーティングを開いてくれる、政府や銀行からの様々プログラム(ローン)をもってきてくれる、便利な人”だと、利用されていたのかも。。。」

\* \* \* \* \*